

第14回岡山大学いちょう並木研究サロン

平成 23年8月30日(火) 18:00 ~ 19:30
(鹿田キャンパス) 図書館鹿田分館 3階ホール

話題：「体の機能を修復し代替する
「もの」づくり」

講師：尾坂 明義 教授
(大学院自然科学研究科 機能分子化学専攻)

【概要】

人間の作った「もの」(=材料)にたいする生体の応答によって、材料の適・不適合がわかる。例えば、ステンレス鋼なら、生体はコラーゲン被膜で覆う(カプセル化)。しかし、適切な化学過程で作成された酸化チタン層を被膜すれば、骨組織に類似のアパタイト層で覆う。一方、シリコンゴムはカプセル化を引き起こすが、それと二酸化ケイ素成分とを分子レベルで複合化した材料(ハイブリッド)は、骨芽細胞と親和性が高い。また、微小な気孔を大量に含む多孔質体は、人工臓器としての応用も可能である。同様に、二酸化ケイ素成分とキトサンとのハイブリッド多孔質体は、神経の再生にも有効である。これら生体適合の材料が体の機能を修復し代替する「もの」として有効である。

ワンコイン方式(教員：500円 学生：100円)
ビール/ソフトドリンク + サンドイッチをとりながら
提供話題中心に 議論・歓談ください

参加申込先：岡山大学 研究推進産学官連携機構 研究推進本部
電話：086-251-8466 メール：res-pro@cc.okayama-u.ac.jp

氏名・所属・電話番号をお知らせください。

締切：H23年8月29日 12時(ご連絡がない場合はサンドイッチをご用意できない場合があります。)